

2012年11月13日

報道関係各位

中部学院大学経営学部

中部学院大学各務原シティカレッジ

本年度公認会計士試験の最年少合格者を再び輩出

全国最年少合格者を輩出した会計プロから 現役大学1年生（18歳,19歳）ら4人合格

中部学院大学経営学部ならびに同各務原シティカレッジの「会計プロフェッショナルコース」から、ことし8月に行われた2012（平成24）年公認会計士試験（論文式）において、今回の最年少合格となる大学1年生（18）を含む4人が合格を果たしました。中でも経営学部の2人はともに10代で、20歳未満の合格者は、全体の0.4%（6人＝うち2人は会計プロコース）と狭き門を突破しました。同コースから公認会計士の合格者が出るのは、2年前、全国史上最年少となる16歳の合格者を含む3人など計8人となりました。また、指導する森均教授は、高校教師時代、税理士試験11年連続で最年少合格者を輩出し、大学教授に就任してからも公認会計士合格の実績を重ねています。

本年度の公認会計士試験の合格者は11月12日、公認会計士・監査審査会より発表されました。受験者データは、願書提出者数（a）17,894人、論文式の受験者数3,542人に対して、合格者数（b）は1,347人、合格率は7.5%（b/a、前年6.5%）、合格者の平均年齢は26.6歳でした。

記

- **合格者**
- 渡邊 孝江 18歳（経営学部1年、会計プロ4年目）
 瀬戸山大雅 19歳（経営学部1年、同4年目）
 井関 厚夫 22歳（各務原シティカレッジ生、同3年目）
 大塚 秀哉 24歳（各務原シティカレッジ生、同2年目）
 （いずれも2012年11月12日現在）

■ **基礎データ**

	（全体）	（20歳未満）
願書提出者数(a)	17,894人	149人
論文式受験者数	3,542人	9人
合格者数(b)	1,347人	6人
合格率(b/a)	8%	4%

■ 公認会計士試験

2006（平成18）年より、従来の第1次試験、第2次試験（短答式・論文式）、第3次試験（筆記・口述）の3段階5回の試験から、短答式試験、論文式試験の1段階2回の試験に変更されました。それにより、従来科せられていた「一般的な学力（従来の第1次試験）の判定が撤廃され、実質的に受験資格の制限がなくなったため、年齢制限もなくなりました。

[短答式]

試験科目＝財務会計論（簿記・財務諸表論等）、管理会計論（原価計算等）、監査論、
企業法（商法等）

[論文式] 短答式合格者のみ受験可

必須試験科目＝会計学（財務会計論・管理会計論等）、監査論、企業法（商法等）、
租税法（法人税法等）

選択試験科目＝経営学、経済学、民法、統計学より1科目

[論文式合格後、資格取得までの道のり]

実務補修の修了と2年間以上の業務補助など（合格の前後は問わず）の終了後に登録することで「公認会計士」の資格が得られます。実務補修と業務補助などが修了していない段階は「公認会計士試験に合格した者（公認会計士試験合格者）」。

■ 森均プロフィール

大学卒業後、高校教師となり、岐阜県立益田高校（現・益田清風高校）に赴任。山間地の荒廃していた高校の建て直しを決意。「誰でもやればできる、何でもできる」をモットーとする人間教育を掲げ、全国簿記大会で35回優勝、準優勝15回、税理士試験11年連続全国最年少の合格達成など、数々の偉業を成し遂げる。2006年度より中部学院大学教授に就任。2007年秋、2008年春、1級の部で団体・個人優勝に導く。2012年春までに団体1級は10回出場中、優勝4回、準優勝3回、同2級では11回出場中、優勝4回、準優勝6回と名門校を抑え、常に上位に導いている。

■ プロフィール

渡邊 孝江

中学卒業とともに、中部学院大学各務原シティカレッジ生。通信制高校に通いながら、税理士、公認会計士試験の勉強を重ねてきた。2010年12月（16歳）で税理士試験の簿記論、財務諸表論の2科目に合格。2011年には公認会計士試験短答式に合格。今年4月から中部学院大学経営学部に入學。6月に行われた春季全国大学対抗簿記大会では個人1級3位、団体1級優勝に輝いた。今回の公認会計士試験では、18歳での最年少合格を果たした。

瀬戸山 大雅

中学卒業と同時に、宮崎県から本学各務原シティカレッジ生になる。通信制高校に通いながら、税理士、公認会計士試験に臨み、2010年12月に簿記論に合格。今年2月には公認会計士試験短答式に合格。今年4月から中部学院大学経営学部に入學。6月に行われた春季全国大学対抗簿記大会団体1級優勝メンバー。

井関 厚夫

森均教授の指導を受けようと、大阪の大学を休学し、会計プロフェッショナルコースの門をたたく。今年2月には公認会計士試験短答式に合格。6月に行われた春季全国大学対抗簿記大会団体1級優勝メンバー。家業は大阪を代表する井関公認会計士事務所。

大塚 秀哉

関西の大学を卒業後、地元・各務原市で税理士・公認会計士の指導をしている森均教授の下で指導を受けるため、各務原シティカレッジ生に。今年2月には公認会計士試験短答式に合格。6月に行われた春季全国大学対抗簿記大会の個人1級で満点優勝。

(本件に関するお問い合わせ先)

中部学院大学 事務局 (担当: 田口) TEL:0575-24-2211 (総務課)